

レジリエンス研究教育推進コンソーシアム第3回幹事会議事メモ

- 1 日時：平成30年8月30日(木)10時00分～11時00分
- 2 場所：筑波大学 総合研究棟 B1202
- 3 出席者：林（会長）、甘利（副会長）、遠藤
陪席者：阿部、中島、前山（防災科学技術研究所）、平岡（セコム）、石濱、松原（筑波大学）
(敬称略)

4 議事

- (1) スリーエム ジャパン株式会社の入会申込について（資料1, 2）

- (2) シンポジウム後援等依頼について（資料3, 4）
筑波大学の共催について

- (3) 共同研究について（資料5）

- (4) 客員教員人事について

- (5) シンポジウム当日の会議開催について（案）（資料6）

- (6) 次々回運営委員会の開催機関について

- (7) 外部向けウェブサイトについて

- (8) その他

NCDR 日本語による文書・会議について

NCDR ポリコムについて

セコム ポリコム貸出について

（配付資料）

資料1	スリーエム ジャパン株式会社 事業概要	P.1～
資料2	スリーエム ジャパン株式会社 入会申込書	P.5～
資料3	シンポジウム後援等依頼候補学会等一覧	P.7～
資料4	コンソーシアムシンポジウム後援依頼状（案）	P.9～
資料5	林会長意見交換議事メモ	P.13～
資料6	シンポジウム当日の会議開催について（案）	P.15～

エレクトロニクス&エネルギー

技術革新の波を捉え、新しい時代を支える製品を提供しています。

電力関連

電力・電子ソリューション事業部



電力・電子ソリューション事業部



3M™ 常温収縮チューブ製品

電線の接続部やケーブルコネクタの絶縁保護・防水用途に使われます。作業時にコアを引き抜くだけでチューブが収縮するため、作業効率の向上に貢献します。



スコッチ。電気絶縁用ビニルテープ製品

電気配線工事の電気絶縁からケーブルの識別までさまざまな用途で使われる電気絶縁用ビニルテープです。柔軟性が高く、よく伸びて凹凸面へもしっかり密着し、きれいな仕上がりを得られます。



電気・電子製品

電力・電子ソリューション事業部



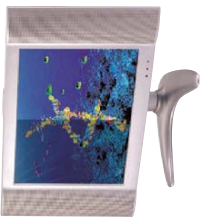
液晶ディスプレイ関連

ディスプレイ製品事業部



3M™ ミニ・クランプコネクタ

半導体製造装置や自動搬送装置など、各種製造装置内のセンサー線や制御線を特殊な工具なしで接続することができ、工数を削減します。



3M™ 輝度上昇フィルム

薄膜を重ねることにより光の「透過」と「反射」を制御するフィルムです。バックライトの明るさを有効に活用し、テレビやパソコン、携帯電話など液晶ディスプレイの輝度を高めます。

セーフティ&グラフィックス

建築、サイン、ディスプレイから社会の安全まで幅広い分野で暮らしを支えています。

建設・建築関連

コンストラクションマーケット事業部



3M™ ダイノック™ フィルム

木目、単色、抽象柄など設計者・デザイナーを刺激する上質で豊富なデザインを誇る建築内装仕上げ材です。耐久性・施工性に優れ、不燃認定も取得しています。オフィスや店舗、ホテルなどをより美しく仕上げます。



グラフィック製品

コマース&グラフィックス事業部



3M™ スコッチカル™ グラフィックフィルム

広告をカラフルに彩るグラフィック製品です。看板・ディスプレイからバス・鉄道車両・航空機に至るまで、幅広い対象に貼ることができます。



セーフティ・セキュリティ関連

トランスポートレーションセーフティ事業部



3M™ ダイヤモンドグレード™ DG³ 反射シート

夜でも、遠くから明るく光って見える道路標識を実現するための反射シートです。耐傷性に優れ、文字が見やすい状態を長期間維持します。

業務用クリーニング製品

コマース&グラフィックス事業部



3M™ ウエット ディスボーザブル モップ

飲食店などの床清掃が素早く衛生的に行える、使い捨てタイプの水拭き用フラットモップです。水や洗剤が出る専用モップキットと併用することで、従来の糸モップを使った床拭きの清掃時間をおよそ半分に短縮します。

フッ素化学製品

電子用製品事業部



工作機械関連

電子用製品事業部



3M™ Novect™ 高機能性液体

さまざまな工業用途に使われる不燃性のフッ素系液体です。表面張力が低く浸透性が高いことから、電子機器の除塵洗浄や水きり乾燥に使われるほか、電気絶縁性や熱安定性にも優れ、超低温域での化学合成反応、半導体製造機器の潤滑媒体として使われています。



3M™ 3D プリンター ブラットフォームシート 3099AB

特殊な表面加工で樹脂をしつかり固定し、造形物をきれいに外せる世界初の3Dプリンター向けの専用シートです。造形が難しかったABS樹脂の造形の精度が大幅に向上します。



3M™ VFlex™ 防じんマスク

厚生労働省が定めた国家検定区分に合格している、低価格を使い捨て防じんマスクです。空気中の有害微粒子を98%以上*ブロックします。
※平均検漏率



3M™ 取替式防じんマスク 6500シリーズ

ヘルメットを装着したままワンタッチで顔から着脱できる防じんと防毒機能を備えた呼吸用保護具です。レバーの操作だけで、正しく簡単にマスクの再装着が可能です。



安全衛生製品事業部

安全衛生製品

安全衛生製品事業部

コンシューマー

暮らしに密着した製品群が便利で快適な毎日を支えています。

文具・オフィス用品
文具・オフィス事業部



ポスト・イット。強粘着ふせん

従来のポスト・イット。通常粘着製品に比べて、約2倍の粘着力を持つ製品です。パソコンのモニター周りなど、つきにくい場所にもしっかりと貼れて、きれいにはがすことができます。

文具・オフィス用品
文具・オフィス事業部



エーワーン™ ラベルシール

宛名用から表示用まで幅広く使えるラベルシールです。パソコンとプリンタで簡単に作成でき、豊富な品揃えでオフィスからパーソナルまで多様なニーズに対応します。

家庭用品
コンシューマー製品事業部



コマンド™フック
水まわりにも使えるタイプ

水がかかったり湿度の高いシンクや浴室でもしっかりと貼れる耐水タイプの粘着タイプを使用したフックです。不要になったらタブを伸ばしてきれいにはがすことができます。

文具・オフィス事業部



スコッチ。メンディングテープ

貼っても目立たない、高品質なテープです。変質・変色しにくく、テープの上から字を書くことができます。2014年度ロングライフデザイン賞を受賞しました。

家庭用品
コンシューマー製品事業部



スコッチ・ブライト™
抗菌ウレタンスポンジ

鍋・グリルのこげつき汚れもスツクリ落とします。シンブルなデザインはスポンジたわしとの定番です。2012年度ロングライフデザイン賞を受賞しました。

コンシューマー製品事業部



スコッチ。超強力両面テープ
プレミアゴールド
[スーパー多用途]

軟質塩ビからプラスチックまであらゆる素材の接着に対応します。産業分野で培った3Mの高い接着・接合技術を活用した両面テープです。

ヘルスケア

医療から食品関連まで幅広くカバーし、健康と安全への要請に応えています。

医療用製品
皮膚創傷ケア製品事業部



ニードルレスコネクタ用
保護キャップ

医療現場で点滴や輸液療法時のチューブ接続部の汚染を防ぐキャップです。「2016年度グッドデザイン賞」を受賞。

歯科用製品
歯科用製品事業部



スコッチボンド™ 歯科用接着材

歯のエナメル質、象牙質から金属やジルコニアまで、1本で7つの症例に使える歯科用接着材です。

矯正歯科用製品
歯科用製品事業部



歯科矯正用ブラケットシステム

矯正歯科医と患者様の快適性を求めて開発された、セラミック素材のブラケットです。目立ちにくい半透明色で厚みの少ないデザインは、お口の中の違和感を軽減します。

感染管理製品事業部



3M™ リットマン™ 聴診器

患者様の心音をしっかりと聴くことができ、医師から看護師まで多くの医療従事者が日常的に使用する聴診器のスタンダード品です。1996年に発売され、2012年ロングライフデザイン賞を受賞しました。

ドラッグデリバリーシステム
ドラッグデリバリーシステムプロジェクト部



3M™ ベトリフィウム™ 培地

食品中に存在する細菌の数を測定する乾式フィルム状のできあがり培地です。シャーレを使った従来の培養法と比べ検査時間を短縮し、食の安全管理に貢献します。

食品・衛生関連製品
フードセーフティ製品部



経肺吸収製剤

喘息用のエアゾール製剤です。3M独自の製剤技術により薬剤の肺到達率を高めます。世界初の定量噴霧製剤の開発などで50年の歴史を持ち、経肺吸収技術分野をリードしています。

別記第1（第5条関係）

○入会申込書書式

レジリエンス研究教育推進コンソーシアム
入 会 申 込 書

レジリエンス研究教育推進コンソーシアム 殿

当機関は、レジリエンス研究教育推進コンソーシアムの設置目的及び実施する事業
に賛同しますので、入会を申し込みます。

平成30年8月6日

所在地

東京都品川区北品川6-7-29

機関名

スリーエム ジャパン株式会社

代表者（自署又は公印）



A. 優先的に依頼するリスト

	学会等名	紹介者（敬称略）	URL	備考	後援等依頼状況	広告状況
1	地域安全学会	糸井川（筑波大）	http://iss.jp.net/		依頼済	なし
2	日本災害情報学会	糸井川（筑波大学）	http://www.jasdis.gr.jp/index.html		依頼済	なし
3	日本自然災害学会	糸井川（筑波大学）	https://www.jsnds.org/		依頼済	なし
4	日本災害復興学会	糸井川（筑波大学）	http://f-gakkai.net/		依頼済	なし
5	情報処理学会	遠藤（筑波大学）	https://www.ipsj.or.jp/	協賛・後援依頼方法が公開されている https://www.ipsj.or.jp/event/howto_support_request.html 「協賛することにより当会会員が受けられるメリット（参加費の割引、会員料金の適用等）」が聞かれる	依頼状作成中	冊子：『情報処理』10月10日申込締切、10月20日原稿締切、11月15日発行 表4 38万5千円など メールニュース広告：毎週水曜原稿締切 ヘッダ5行 5万円
6	電子情報通信学会	西出（筑波大学）	http://www.ieice.org/jpn/	後援等依頼に対する許諾ガイドラインが公開されている http://www.ieice.org/jpn/about/kitei/kyousankouenguideline.pdf	未着手	冊子：『電子情報通信学会誌』9月25日申込締切、10月1日原稿締切、11月1日発行 表4 42万円など
7	日本知能情報ファジィ学会	遠藤（筑波大学）	http://www.j-		未着手	規程なし
8	日本建築学会	糸井川（筑波大学）	https://www.aij.or.jp/		サイト告知なら可	メール広告：ヘッダ5行 2～5万円
10	エネルギー・資源学会	岡島（筑波大学）	http://www.jsr.org.jp/		依頼状作成中	要問合せ
11	日本エネルギー学会	岡島（筑波大学）	https://www.jie.or.jp/	下部組織でメーリングリスト送信可	依頼状作成中	冊子；『日本エネルギー学会誌』前付1色1頁 9万円余など
13	日本都市計画学会	糸井川（筑波大学）	http://www.cpij.or.jp/		後援○（手続き終了）	なし
14	土木学会	糸井川（筑波大学）	http://www.jsce.or.jp/	後援等に関する規程が公開されている https://www.jsce.or.jp/rules/files/2-l8.pdf	依頼済	冊子：9月末原稿締切、10月末発行 表3カラー 45万円など
17	NPO 日本ネットワークセキュリティ協会	甘利（セコム）	https://www.jnsa.org/		未着手	なし

B. 上記依頼がうまく進んで余裕があれば依頼するリスト

9	電気学会	岡島（筑波大学）	http://www.iee.jp/	協賛・後援依頼手順が公開されている
12	日本LCA学会	岡島（筑波大学）	https://www.ilcaj.org/index.php	
15	日本太陽エネルギー学会	岡島（筑波大学）	http://www.jses-solar.jp/	
16	日本原子力学会	古川（筑波大学）	http://www.aesj.net/	

※広告は新聞社にも依頼

※ポスターは、リスク工学専攻とお付き合いのある200大学・高専のほか、茨城県市町村、東京都区、消防庁にも送付

平成 30 年〇月〇日

〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇学会
会 長 〇 〇 〇 〇 殿

レジリエンス研究教育推進コンソーシアム
会 長 林 春 男

レジリエンス研究教育推進コンソーシアム 第 1 回シンポジウムの
ご後援について（依頼）

拝啓 貴会ますますご盛栄のこととお喜び申し上げます。

平素より当コンソーシアムの事業に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、レジリエンス研究教育推進コンソーシアムでは、下記要領により第 1 回シンポジウムを開催いたします。つきましては、貴会のご後援を賜りたく、関係書類を添えてご依頼申し上げます。何卒ご高配の上ご承諾賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、貴会に費用負担や人的負担など一切のご負担はおかけいたしません。

敬具

記

1. 催し物の概要

- ・種類 シンポジウム
- ・名称 レジリエンス研究教育推進コンソーシアム 第 1 回シンポジウム
安全・安心を創る～レジリエンス研究教育推進コンソーシアムが目指すもの～
- ・趣旨 別紙のとおり。

2. 催し物の日時および場所

- ・日時：平成 30 年 12 月 14 日（金）14 時 00 分～16 時 50 分
- ・場所：嘉ノ雅 茗溪館 2 階「茗溪」
（〒112-0012 東京都文京区大塚 1-5-23）

3. 後援に伴う負担金 無し

貴会の定める範囲内で、Web 掲載などの広報にご協力くだされば幸いです。

4. 催し物の内容 別紙のとおり。

5. 連絡先

下記のとおり。

〒305-8573 茨城県つくば市天王台 1-1-1
レジリエンス研究教育推進コンソーシアム
事務局 松原 悠
TEL: 029-853-4975 FAX: 029-853-6307
E-mail: matsubara@risk.tsukuba.ac.jp



安全・安心を創る～レジリエンス研究教育推進コンソーシアムが目指すもの～

主催：レジリエンス研究教育推進コンソーシアム

後援：(調整中)

趣旨

我が国は世界的な自然災害大国である。「強さ」と「しなやかさ」を兼ね備えた安心・安全な国土・地域・経済社会、すなわちレジリエンス社会の実現は急務の課題である。本シンポジウムでは、企業、研究機関、大学の参画により 2017 年 12 月に発会したレジリエンス研究教育推進コンソーシアムによる、レジリエンス社会の実現に向けた取り組みを発信する。

日時

平成 30 年 12 月 14 日(金)14:00-16:50

場所

嘉ノ雅 茗溪館 2 階「茗溪」(東京都文京区大塚 1-5-23)

第1部・第2部 参加費無料



林 春男



甘利 康文



面 和成

第1部 自然・人間社会・サイバー空間に存在するリスクとレジリエンス

14:00-14:05	開会挨拶
14:05-14:30	自然災害のリスクに対するレジリエンスの向上 林 春男(防災科学技術研究所 理事長)
14:30-14:55	日本で起こる事件・事故に深く関わる「世間」という構造 甘利 康文(セコム株式会社 IS 研究所 リスクマネジメントグループ グループリーダー)
14:55-15:20	情報通信技術(ICT)の進化とサイバーリスク 面 和成(筑波大学 システム情報系 准教授)
15:20-15:50	コーヒーブレイク

第2部 レジリエンス社会の実現に貢献する人材育成

15:50-16:00	コンソーシアムが推進する大学院教育～協働大学院方式による新たな学位プログラム～ 遠藤 靖典(筑波大学 システム情報系 教授、リスク工学専攻長)
16:00-16:45	コンソーシアム参画機関によるパネルディスカッション
16:45-16:50	閉会挨拶

情報交換会

17:30-19:00 (参加費 2,000 円、要事前登録)

準備の都合上、12 月 2 日(日)までに事前登録をお願いします。

情報交換会以外は当日参加も可能です。

登録フォーム：(作成中)



遠藤 靖典

お問合せ：レジリエンス研究教育推進コンソーシアム事務局 r2ec@risk.tsukuba.ac.jp

029-853-4975 URL：(作成中)

趣旨（詳細版）

我が国は世界的な自然災害大国である。2011 年には東北地方太平洋沖地震によって数多くの人命が失われ、今年に入って発生した平成 30 年 7 月豪雨の記憶も未だ生々しい。このような国土に生きる我々にとっては、「強さ」と「しなやかさ」を兼ね備えた安心・安全な国土・地域・経済社会、すなわちレジリエンス社会は、可及的速やかに実現させるべき最優先の課題である。このレジリエンス社会の実現には、これまでにない新たな理論や技術の開発が必要であり、そのためには、産官学を挙げての取り組みが必要である。

そこで、各分野をリードしている企業、研究機関、大学が機関の壁を超えて協働し、2017 年 12 月 26 日にレジリエンス研究教育推進コンソーシアムを発会させた。このコンソーシアムは、リスク・レジリエンスに関する知の一大発信拠点として、リスク・レジリエンス研究の新たな領域を開拓し、同時にアカデミックなグローバル人材の育成を行うことを目的としている。

本シンポジウムでは、自然・サイバー空間・人間社会の中に存在するリスクについて安心・安全の観点から講演すると共に、コンソーシアム参画機関同士のパネルディスカッションを通じて、レジリエンス社会の実現に向けた本コンソーシアムの取組みを広く社会に発信する。

林会長意見交換議事メモ

日時：2018 年 8 月 22 日（水）14:45-15:00

場所：防災科学技術研究所 つくば本所

出席：林（会長）、阿部、中島、前山（防災科学技術研究所）、遠藤、石濱、松原（筑波大学）
（敬称略）

議事

● コンソーシアム共同研究プロジェクトについて

林会長より、以下のとおりコンソーシアム共同研究プロジェクトを進めることの提案があり、了承された。

- ・ 現在、IRDR（Integrated Research on Disaster Risk：国連機関 UNISDR による防災・減災の研究プログラム）の日本委員会である IRDR Japan において、共同研究を立ち上げて新学術領域に応募する計画がある。この計画は、National Platform としてのオンライン防災統合システムの設置を目指すものであるが、システムの対象を事件・事故やサイバーリスクにも拡張することにより、コンソーシアムの参画機関にも関与していただくのはどうか。
- ・ この計画には現在、防災科学技術研究所をはじめ、東京大学、京都大学、東北大学、名古屋大学、九州大学の各防災関係研究所のほか、東京大学生産技術研究所、土木研究所 水災害・リスクマネジメント国際センター(ICHARM)が参画している。
- ・ 上記の計画とは別に、日本学術会議による「学術大型研究計画」の公募に応募する計画もある。こちらにもコンソーシアムの参画機関に関与していただくのはどうか。

以上

シンポジウム当日の会議開催について（案）

12月14日(金)

（A 案）

11:00-12:00 幹事会

12:00-13:30 運営委員会（12:30 昼食提供）

14:00- シンポジウム

※2019 年 1 月は運営委員会を開催しない

（B 案）

12:00-13:30 幹事会（12:30 昼食提供）

14:00- シンポジウム

（C 案）（現状案）

13:00-14:00 幹事会

14:00- シンポジウム